

馬場ひでゆきの活動日誌

No.65

6月17日から県議会6月定例会が始まりました。4月の臨時議会に引き続き、議会の代表質問・一般質問では、柏崎刈羽原発の再稼働問題について論戦が交わされました。

県民の意思の確認の方法について

「県民投票を行わないとすれば県知事選挙で県民に直接問うこととしかなく、県議会の判断をもって県民の意思を確認したとすれば県民との約束を破ることになるのでは？」（未来にいがた・樋口議員）

この質問に対して、知事は、「県民の意思を確認する方法に

ついてはまだ決めていない、ただし、県民の信を問う方法がもつとも重い」という従来の答弁を繰り返しました。

なお、政府や経済界からの早期の再稼働を求める動きに呼応するかのよう「議会制民主主義の下では、県議会がその是非を判断すべきではないか」（真政にいがた・渡辺議員）と知事に議会での議決を強く迫る質問も複数ありました。

（馬場の考え）

知事は、原発再稼働の判断について「県民に信を問う」と言うてきました。しかし、最近では、「まだ決めていない」などといまいな発言をしています。

知事が政府や経済界の要請に押されて県民に意思表明させることなく議会の判断のみで決着させてしまう可能性もあります。私たちは、そうならないように、知事に対して「県民に信を問う」との公約を守れと要求していく必要があります。

公聴会、意識調査の問題点

知事は、4月の議会で、県民投票条例案につき「二者択一では多様な意見を把握できない」と否定的な意見を述べました。その後、知事は、各自治体首长との懇談会を開催したり、公聴会の日程を決めるなどしてきました。秋には県民の意識調査が行われる予定です。

この動きに対しては、公述人の選定が公正に行われるのか（樋口議員）、意識調査の設問によって、結果が県に都合がいのような誘導的な設問になる怖れがあるのではないか（リベラル新潟・小泉議員）など公正・中立性に疑問を呈する質問が相

次ぎました。

（馬場の考え）

首长の懇談会は、非公開、終了後に取材はできますが、何を話したのかについて、明らかにしない首长もいました。

県が実施予定の公聴会は、現地の傍聴ができないオンライン開催です。しかも、公開されるのは、公述人の性別、年齢、音声のみです。本人が公開に同意すれば映像は映されますが、そうでなければ誰が話しているのかわからず、記者が後日取材することも困難です。

県民から意見聴取をするというものの、県がすべてを仕切ることでとなり、県民は黙ってると言わんばかりです。

しかし、県政の主役は県民です。県民の知る権利が軽視されています。しつこく情報公開を求めています。

6月14日～6月27日

- 6月14日 浦川原でおしゃべり会（浦川原区上越市立図書館浦川原分館）
- 15日 仲町でおしゃべり会（仲町四丁目「屋台村」）
- 17日 県議会（知事議案説明）
- 19日 県議会（代表質問）
- 20日 県議会（一般質問）
- 22日 金谷地区でおしゃべり会（金谷地区公民館）
- 23日 県議会（一般質問）
- 24日 県議会（常任委員会、馬場は産業経済委員会）
- 24日 大潟コミュニティプラザで上野市議と市政・県政報告会（大潟コミュニティプラザ）
- 25日 県議会（常任委員会）
- 26日 県議会（常任委員会）

コージ Break

「美術館」

先日、新潟市内の雪梁舎美術館に行き「佐渡の芸術家展」を観ました。高橋信一さんのトキの版画や金工作

家の宮田亮平さんのイルカのシュプリングンが観れました。佐渡は芸術の宝庫なんですね。

この美術館にはシャガールの絵も常設展示されています。新潟が誇るべき美術館です。

ところで、芸術作品を観ると、作家からダイレクトに凄いパワーをもらえます。だから、美術館で作品を観るのは大好きです。専門的なことはわかりませんが。

東京の谷中に住んでいた頃は、学生で暇だったため、根津の弥生美術館によく行きました。ここは竹久夢二のコレクションで有名です。

夢二の描く女性のうなじの部分が秀逸だなあ、

どうして夢二はこんなに女性をステキに描けるのだろうなんて思っていました。



たご夫婦にお声掛けいただき、10人の方に集まってくださいました。

十日町市に近く、豪雪地域でもあることからその土地ながらの質問が相次ぎました。

松之山に住んでいる家族が吐血をして病院に行こうとしたら近くの十日町病院で満床を理由に断られた、その後再び吐血したので救急車を呼んだら魚沼基

幹病院に行くと言われたが、対応できないと言われた。局長岡に搬送された、今後松代病院が診療所になった場合、果たして十日町病院で対応できるのか、との切実な質問が出ました。

また、高齢者が多い豪雪地域において除雪に従事する人が少なすぎる、住む人がいなくなってしまうとの訴えもありました。

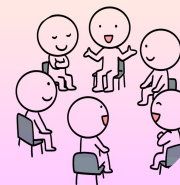


6/14

浦川原でのおしゃべり会

生活から政治を考える

出張馬場のお話会 報告



私の活動を知ってもらうために、支持者のお知り合いにお声掛けいただきながら4人～10人くらいの小規模の集会を重ねています。

私が県議としてどんな取り組みをしているのかを知ってもらう機会でもあり、どの場所でも新たな課題や悩み、現状を知ることができて、私にとっても、貴重な時間となっています。6月に行ったお話会の様子をご報告します。

6/15

仲町でのおしゃべり会

民商の会長である岩澤さんのお店で3名の若者が集まってくれました。現在の仲町の現状をいろいろとお話してもらいました。「ここは飲食店街ですか」と質問されることもあるそうです。驚きました。

若者は出会いを求めて仲町へ来るがお店には入らない、中高年は不景気で飲食にお金を使わない、本町でイベントがあっても仲町まで人が回ってこない、物価高で粗利も三分の一になったなど暗い話が次々に出てきました。



6/22

金谷でのおしゃべり会

他方で、営業時間や接客などを工夫して頑張っている、仲町が飲食店街だとわかるようにアーチ看板をつけたいというお話もお聞きし、私も元気をいただきました。私も、参加者の皆さんのお力になれるように頑張ることを約束しました。

金谷地区に居住されている女性からお友達にお声掛けいただき、7名の女性に金谷地区公民館に集まってくれました。



まずは順番に自己紹介をし、それから県議会での動画を観ていただき、意見交換。

「電力は十分足りているのではないのか。本当に（原発は）必要なの？」「どんな思いで署名したのか。みんなしつかり考えて署名した。知事はそれをちゃんと受け止めていない」「知事はあんなにたくさん署名が集まると思わなかったのではないのか」「生活の実感から考える政治が必要」などの意見が出ました。お話が盛り上がり、予定時間を超過してしまいました。

募集中

馬場の出張「お話会」

ここに記載しました通り、少人数の「おしゃべり会」をさせていただきます。

お茶飲み友達や、趣味の仲間などにお声掛けいただければうれしいです。

ご希望があればどこでも行きます！お問い合わせは事務所まで。

☎025-546-7110

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田式番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babaihideyuki@wind.ocn.ne.jp